がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2025-GB-091」

研究課題名「骨外性骨肉腫の網羅的解析と多形性肉腫の観点から見た全体像の解明」

１．研究の対象

西暦2000年1月1日から西暦2029年12月31日までにがん研有明病院にて病理組織診断が行われ、骨外性骨肉腫、なんらかの多形性軟部肉腫（未分化多形肉腫、悪性線維性組織球腫、平滑筋肉腫など）、あるいは骨肉腫と診断された患者さんが対象です。未成年も含みます。

２．研究の目的・方法

軟部肉腫には、高度の多形性を示し疾患特異的なドライバー変異を持たず、高齢者に好発する悪性度の高い一群が存在しています（高悪性度多形性肉腫群）。これは未分化多形肉腫、高悪性度の粘液線維肉腫、多形性を示す平滑筋肉腫、多形型横紋筋肉腫、多形型脂肪肉腫などからなり、骨外性骨肉腫も含まれると推定されていますが、他疾患と異なり症例数の少ない骨外性骨肉腫においては、網羅的なゲノム解析、発現解析、DNAメチル化解析などのデータが不足しており、全体像の解明が進んでいません。組織所見や臨床所見の検討と合わせてこうした解析を行うことで骨外性骨肉腫の全体像を明らかにし、さらに他の多形性肉腫や骨肉腫との比較を通じて、高悪性度多形性肉腫全体への理解を深めることを目的としています。
網羅的なゲノム解析、発現解析の方法としては、RNAシーケンスと全エクソームシーケンス、場合によっては全ゲノムシーケンスを行い、ゲノム異常の確認のためにはFISH（蛍光in situハイブリダイゼーション）、PCR、ダイレクトシーケンスなどを行います。組織所見の検討には、免疫染色も利用します。

３．研究期間

承認日　～　2030年03月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：病歴、治療方法、画像所見など
試料：組織標本、組織ブロック、凍結検体

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　がん研究会有明病院　病理部　副医長　山下 享子
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3570-0558